

◆編集・発行  
茨城町 町長公室 秘書広聴課  
〒311-3192  
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080  
☎ 029-292-1111  
メールアドレス  
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口  
住民基本台帳  
令和元年8月末現在  
男 16,387人  
女 16,215人  
総人口 32,602人  
世帯数 13,307世帯

- ◆茨城町民憲章
- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
  - 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
  - 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
  - 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
  - 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花 桜  
◆町の木 梅  
◆町の鳥 ウグイス

◆町の情報発信中!!  
●町公式ホームページ  
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



●町公式ツイッター  
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



●町公式Instagram  
[https://www.instagram.com/townibaraki\\_official/](https://www.instagram.com/townibaraki_official/)



## 里山に育む生きものたち

No.86 クロコノマチョウ

(タテハチョウ科ジャノメチョウ亜科)

学名 *Melanitis phedima oitensis* Matsumura

写真・文 小菅 次男

▼庭への初珍客  
去る8月12日、水やりに庭に出ると、草むらからひらひらとジャノメチョウらしき蝶が飛び出した。初め気にしなかったが、待てよ、どうも違うらしい。なんとわが庭にいたのは初珍客のクロコノマチョウでした。あわててカメラを取りに行く。戻ると見当たらず、必死に探しやつと発見。無事写真を撮る事ができました。

▼元は屋久島・種子島の蝶  
本種の日本での元々の分布は屋久島、種子島でした。

▼そこから南の奄美・沖縄諸島に1970〜80年代に分布を広げ、一方北へも進み1950年代に静岡、関東地方にはその40年後の1990年代になって入って来ました。現在、茨城県には定着したことが

認められています。

▼分布を決定する要因  
生息地の環境は成虫の好む照葉樹林などの暗い林床とそれに隣接するスキ・ヨシ、ジユズダマなどの食草が生育する明るい環境の所です。

本種の分布を決定する要因はこれらの食草ではなく、冬季の気温と考えられています。

それは、成虫で越冬をするため、以前は気温が低く死滅していましたが、温暖化の影響で冬を越せるようになったからです。

▼漢字では「黒木間蝶」  
前翅長35mm程のジャノメチョウの仲間では大型の蝶です。年2〜3回の発生で夏型と秋型があり、秋型で冬を越します。

全体にこげ茶色で、翅の端は突起状に角張り、

裏面は枯葉に似ていて止まっていると見つけ難い蝶です。

名前の通り日中はうす暗い雑木林の中に潜んであまり飛びませんが、夕方になると林内や林縁を活発に飛び回ります。クヌギなどの樹液や果実に集まることがあります。

この仲間はアフリカ大陸からアジア南部、ニューギニアにかけて12種が知られています。日本には本種とウスイロコノマチョウの2種を産します。

隣接する水戸市、小美玉市、旧旭村には記録があります。人家の庭、神社、公園などでも見られると言われます。茨城町では確認されていないだけで、実際には皆さんの身近な所に現れているのかもしれない。

## ちびっ子アート いばらき中央認定こども園



「うみにいったよ」  
こまつ あいな (6歳)



「クワガタをつかまえたよ」  
せきね りゅうと (6歳)